

## ご家庭でできる水の備え

### ◆水のくみ置きを習慣にしましょう

- ・ くみ置きの目安

人間に必要な水の量は1人1日3リットルです。この量を目安に、3日分程度くみ置きをしてください。

- ・ 保存方法

清潔でふたのできる容器に、できるだけ空気に触れないよう、口元までいっぱい水道水を入れて保存してください。

浄水器を通したり、沸かししたりすると、消毒用の塩素が除去されてしまいます。必ず蛇口から注ぎましょう。

- ・ 保存期間（飲料水として使用できる日数）

水道水には消毒のため塩素が含まれています。塩素の消毒効果は、直射日光を避けて常温で保存すれば3日程度、冷蔵庫で保存すれば10日程度持続します。日付をメモしておくとう便利です。なお、保存期間を過ぎた水は、掃除や洗濯などにご活用ください。

- ・ お風呂の残り湯

お風呂の残り湯は、すぐに流さずにとっておきましょう。

災害はいつ起こるかわかりません。残り湯でも、防火用や雑用水として有効に使えます。



### ◆給水を受ける容器などを準備しておきましょう

災害が発生してからでは、容器が売り切れになることもあります。普段から準備しておきましょう。水は意外と重いものです。容器を入れるリュックやキャリーバッグを用意しておくとう便利です。

鍋やバケツは、運ぶときにこぼれてしまいます。ふたのついた容器を準備しましょう。



### ◆身の安全が確認できたら、水道水が出るか確認しましょう

災害直後は水道が出て、後で断水になることがあります。鍋、バケツ、洗い桶、浴槽などにくみ置きしましょう

### \* 災害時には、ご近所の高齢者や障害のある方に水を届けてください。

ご近所の高齢者や障害のある方への給水への協力など、地域のみなさまの相互の助け合いをお願いします。